

日本共産党をのばして 大軍拡・大増税 NO!の審判を

岸田内閣は、軍事費 43 兆円、敵基地攻撃能力の保有、大増税で他国に牙むく戦争する国づくりに踏み出そうとしています。自民・公明がすすめる大軍拡に「核共有」などあおりたてるのが維新です。日本共産党は、大軍拡・大増税ストップ、平和外交に力を尽くしています。

コロナ・物価高騰から市民のいのち・ くらしを守る鋭い議会論戦、多くの提案



市民の願いをまとめ市長へ申し入れ

みやじまさんは、町会・市会議員 24 年の経験を生かし、毎議会で質問・発言を行い、議案・意見書を数多く提案し、議会論戦をリードしてきました。

みなさんの声を聞き、市政に届け、議会報告懇談会の開催、議会報告の発行を行い、市民に寄り添う議員活動を貫いています。コロナ・物価高騰の時、いのち・くらしを守り、住みよいまちづくりに全力をあげています。

兜台で 33 年、住みよいまちづくりに全力

みやじまさんは、兜台に住み 33 年、自治会や PTA の役員もつとめ、まちづくりの先頭にたってきました。「高の原幼稚園の廃園は止めよ」「消防署の木津西出張所の存続を」と議会でも強く要求。現市政の福祉と市民サービスの切りすてを許さず、安心・安全、住みよいまちづくりの先頭に立っています。

困っている人の相談にのり、政策通の宮嶋さん

兜台 中森 啓之

みやじま良造さんは、コロナ禍、公園駐車場で車上生活をしている人の新型コロナウイルス特別定額給付金 10 万円の申請の相談をはじめ、多くの生活相談にのってきました。地域要望にも現地に出向き調査して、市に要望し実現してきました。

市政をよく研究し、市議会で市民の要望をもとに論戦し実績を上げるとともに、福島の子供支援は 30 回以上で、人の痛みをわがこととし、原発ゼロ行動を続けています。「福祉のこころ」の持ち主、市民に寄り添うみやじまさんが議会で活躍されることを期待しています。

新しい
女性市長で

木津西消防出張所は存続し、
安心・安全、住みよいまちづくりを

市会・町会議員 24 年
多くの提案で、まちづくりの先頭に

みやじま 良造

市会議員

〔略歴〕木津川市議・木津町議 24 年。
関西大学卒。教員 16 年。
高の原小・木津二中 PTA 会長、兜台 1 丁目
自治会副会長など歴任。

みやじま良造の
Facebook ツイッター

日本共産党

私の
お約束

暮らしに希望を まちを元気に

子育て支援の拡充へ 3つのゼロを

- 医療費は高校卒業まで無料に
- 学校給食費を無料に
- 国保税均等割は収入のない高校卒業まで無料に

- 新消防庁舎は安全な場所に、木津西消防署は存続を
- 市民と協働しごみの分別と減量を進め、有料ごみ袋は中止に
- きのつバスをもっと便利に、運賃は 100 円に、高齢者は無料に
- 住宅リフォーム助成の実現で地域経済の活性化を
- 税金の使い方を改め、基金の有効な活用で実現へ

日本共産党山城地区委員会は
上記の見解を発表しました。

ハッキリものを言い、しっかり働く 日本共産党の3議席

合併から16年。加茂では人口が80%となるなど「周辺」地域が疲弊。城山台など人口急増地では、日本有数の超マンモス小学校が生まれるなど、国いいなりで、民間優先の開発のツケが市民を直撃しています。現市政を支えてきたのが自民・公明・維新などの市長与党です。日本共産党は、この市政とキッパリ対決し、市民のいのち・くらしを守り、地域の振興に力を尽くしてきました。

市政 転換

対話でつなげ
対話でつくる

木津川市を

新しい女性市長で

みなさんと
ともに

新消防庁舎建設計画は 中止・見直し

木津西・山城消防署（出張所）の廃止に自治会や市民から不安の声が続出。50億円かかる計画は見直して安全な場所に移転、消防出張所は存続を。



城山台小学校の超マンモス校解消へ

市民のみなさんと分離・新設を目指し、超マンモス校の課題解消教育環境の改善に粘り強く取り組んでいます。

山城町神童子のメガソーラー建設 ストップ

議会で何度もとりあげ、太陽光発電設備条例を制定。山城町へのメガソーラー建設にストップをかけています。

キッパリ
対決

ガマンと負担を 押しつける市政NO！

現市政と与党 自民・公明・維新などと対決

保育園の民営化、統廃合、高の原幼稚園の閉園を強行。児童生徒の減少を理由に学校の統廃合を計画する現市政。

市民負担では、ごみ袋の有料化、下水道料金の20%値上げ。合併前は無料の山城福祉バスが200円、きのつバスは2010年に運賃を2倍にして乗客は54%に減少。

合併後、加茂では自校給食をなくし、プラネタリウム館や山の家、加茂体育館を廃止し、地域の衰退を招きました。

くらし・教育の願い実現

学校トイレの洋式化推進 給食費の据え置きが実現

洋式化を求める請願の採択に全力をあげ、子どもたちの声を繰り返し取り上げ、学校トイレの洋式化が進みました。物価高で給食の食材が高騰。給食費値上げではなく、高騰分の補助を市に要求、予算化され給食費は据え置かれています。少人数学級や放課後児童クラブの改善、学校トイレに生理用品の常備など実現に力をつくしています。

体育館・講堂へのエアコン 設置へ議会動かす

みなさんの署名2709筆がそえられた「子どもたちにゆきとどいた教育条件と子育て環境を守る請願」の採択に向け奮闘。市長与党が反対する中、子どもや保護者の切実な願いを反映した討論は議会を動かし、「体育館・講堂へのエアコン設置の計画を立てて」は採択され、議会の意思となりました。

多くの提案で
市政を動かす

コロナ対策で 13回の申し入れ

国保税が 据え置きに

コロナからいのち・くらし、営業を守るため、13回の申し入れを行うなど多くの提案。妊婦への10万円支給、感染症防止への物品購入など事業者支援、密をさけるため、学校の課外事業でのバス増車など実現。高すぎる国保税の引き下げを繰り返し求め、一般会計からの繰り入れで値上げをストップさせてきました。



木津川市から平和の声を

「核兵器禁止条約の発効に日本の役割を求める」請願の採択に尽力。「政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める」意見書を提案し可決されました。毎年、平和行進にも参加しています。戦争する国づくりにストップをかけ、木津川市から平和の声を広げるため全力をあげています。